

# はな子と歩んだ 69年にありがとう

平成28年5月26日、井の頭自然文化園の人気者だったアジアゾウ「はな子」が亡くなりました。戦後の変化を見つめてきたはな子の生涯を紹介します。

## 戦後のゾウブームに乗って

はな子は、1947年の春頃にタイの王室とゆかりの深い農園で生まれました。戦後、日本中でゾウを見たいとの声が高まっていたことを背景に、1949年にタイから日本へ贈られ、当初は上野動物園で飼育されました。

## 井の頭自然文化園の人気者に

「移動動物園」を通じて地元の人気者になったはな子は、武蔵野市民と三鷹市民の熱烈な要望で1954年に井の頭自然文化園に引っ越し、その後62年間、同園の人気者として愛され続けました。

## 手のかかる愛らしいゾウ

過去には、不幸な事故で人を踏み殺してしまったり、堀に落ちてしまったりしたこともありましたが、飼育員と市民に愛され続け、最期まで精一杯生き続けました。はな子は日本では最も長生きしたゾウとなり、2016年に69年の生涯を閉じました。



2015年11月のはな子。2016年3月に飼育場の安全柵の設置工事をした頃から、外に姿を見せる機会が減り、飼育員とゆっくり室内で過ごす時間が増えていきました。

## はな子の思い出を伝えていきましょう

吉祥寺駅北口広場に銅像（高さ約1m、長さ約1.5m）を設置し、市民に愛され続けたはな子の姿を後世に伝えましょう。原型は、武蔵野市出身で、これまでではな子の作品を多数発表してきた美術家・笛田亜希さんが制作します。この制作および設置費用などへ、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

## はな子の銅像募金

井の頭自然文化園、武蔵野市役所、各市政センター・図書館、コミュニティセンター（一部を除く）、吉祥寺美術館などに設置された募金箱をお願いします。口座振込やウェブクレジットなどによる募金の詳細は、実行委員会ホームページをご覧ください。http://hanako-bokin.jp/

### お問い合わせ

武蔵野市市民部生活経済課  
吉祥寺「はな子」像設置実行委員会事務局 ☎0422-60-1832

## 制作中の銅像の原型



笛田亜希さん  
写真／笠木靖之

幼少時からはな子が大好きで、今まで、はな子が生きたことを形に残すため作品を作ってきました。銅像は、はな子を愛した皆さんと一緒につくる思いで取り組んでいます。

※この募金は寄付金控除の対象になりません。